

94  
10  
39

準貴

文政七年甲申年

公義被仰上  
廿五

文政七年甲申年  
管部

心義裁  
仰上



田中  
老

一 刀一柄

一 眼差一柄

一 刀汤一本

一 校箱一本

一 柳笔一本

一 镜一面

一 灰笔一本

一 日笔一本

一 平包一本

一 諸事入合箱三

衣白紙中鴻長壽

一 服

一 服袋一柄

一 柳篋大小二

一 每袋箱一

一 平包一

一 鏡二面

一 秤量大小六等

一 日笠一柄

一 髮篋一柄

一 巾櫃一

右紙既松元素平紙分

一 服袋一柄

一 巾櫃一

一 鏡二面

右子人水之主

一 賜袋一柄

一 柳篋一  
一 掛硯一  
一 鏡一面  
一 袋篋一本  
一 石月函  
一 岩臺分  
一 眼差一柄  
一 半櫃一  
一 小箱一  
一 鏡一面

一 眼具入袋色箱三  
一 袋物入合箱六

右裏是步在臺分

一 刀一柄  
一 眼差一柄  
一 接箱一  
一 柳篋二  
一 竹篋一  
一 鏡二面

- 一 洞間鍋一
  - 一 重箱一
  - 一 平色一
  - 一 每袋箱一
  - 一 口笠一本
  - 一 唐令鍋二
  - 一 口掛一
  - 一 細物入合箱五
- 右卜人袋田早治分

行物以真之實

- 一 玉砂糖七百挺條
  - 一 白砂糖貳挺
  - 一 天定貳百五拾挺
- 右十豐後守用物有合之分
- 一 玉砂糖貳百挺條
  - 一 天定口拾挺
- 右同新未給之分

一 刀 一柄

一 眼 差 一柄

一 鏡 一箱

一 旗 砲 二挺 法形 二照 派

一 弓 三張

一 刀 筒 一付

一 接 箱 一付

一 每 邊 箱 一付

一 鏡 二面

一 擊 火 砲 一

一 長 持 大 小 二 桿

一 單 筒 一

一 旗 砲 單 筒 一

一 竹 箆 一

一 銅 古 錫 一

一 旗 間 錫 一

一 珍 藥 盒 一

一 差 盒 一本

一 日笠一本

一 痰具色一

一 掛物入箱三 化六幅入合

一 琴盤一

一 重箱二

一 函付一

一 細柳一

一 海子入樽一

一 用卓筒一

一 同宗 生同新 年三拾歲

氏次郎

一 同宗 生同新 年三拾歲

仁平右

一 同宗 生同新 年三拾歲

清右郎

一 同宗 生同新 年三拾歲

次右郎

一 同宗 生同新 年三拾歲

令之助

一 同宗 生同新 年三拾歲

十郎

一 同宗 生同新 年三拾歲

半次郎

一 同宗 生同新 年三拾歲

浦水 清六

一 同宗 生同新 年三拾歲

清右郎



一	淨土宗	廿四新	年三拾歲	百壽
一	日宗	廿四新	年三拾歲	志乃島
一	日宗	廿四新	年貳拾歲	長市
一	時宗	廿四新	年拾歲	長沙
一	禪宗	廿四新	年六拾歲	淨法
一	日宗	廿四新	年三拾歲	貞助
一	日宗	廿四新	年三拾歲	東助
一	日宗	廿四新	年拾歲	元為
一	日宗	廿四新	年拾歲	廣隆

七波類記云淨土の宗又久之暴風の而  
 行方は舞臺の式敬くお成り後々撰法  
 全教知不中い

一 淨土切の身札等不持て波以圓形に根  
 云浄法宗又願内通記之節一切の等  
 不お波は来浄法宗の志豊後より人  
 水主之外一人今浦水主の札不持  
 仕居り身則是上中い  
 一 宗旨名歳附号之儀浄法宗の遊丸

- 一 禪宗 牛薩州 年三拾九歲 森田長兵衛
- 一 因宗 牛同新 年六拾歲 家来 藤田早治
- 一 因宗 牛同新 年拾拾歲 家来 中野長吉
- 一 因宗 牛同新 年五拾歲 松平 松平頌平治
- 一 因宗 牛同新 年拾拾歲 中上心 中上心
- 一 因宗 牛同新 年拾拾歲 中上心
- 一 因宗 牛同新 年拾拾歲 中上心
- 一 因宗 牛同新 年拾拾歲 中上心

- 一 着法山冲阿不每弘中不之志乃多
- 一 水本矣茶之成下沙薩之心清道浦之
- 一 着弘大之安心之誠以難有法合者教
- 一 朝鮮人言行求之不依高貴不仕以誠
- 一 玄遊沙岸以博去史之九神之儀定應心
- 一 武策令銀錢等積居不中上心或之法
- 一 玄遊以義之令法涉等上一切不持不仕
- 一 或策之儀去不持之令別紙書哉並之
- 一 中上心



入用之果。等。如下。雖有安心。仕。後。館。守。極。涉。越。之。如。須。用。法。律。之。上。日。臘。十。八。日。改。之。仙。舟。其。節。胡。鮮。人。方。之。照。部。一。就。是。有。之。派。之。日。由。海。去。定。之。版。采。用。一。白。羊。等。之。如。與。亦。法。令。寺。好。以。志。已。自。宗。私。同。其。音。胡。鮮。國。出。物。日。日。對。別。依。次。宗。法。國。而。日。着。私。同。悔。日。也。改。之。海。去。月。日。日。日。日。出。帆。漕。船。等。數。被。涉。附。之。成。國。十。日。涉。海。浦。日。

多志口上覺

我之派松平豐後守子私許明九拾六端帆  
私以松平賀平治水支去拾七人乘  
去年四月薩州願在史海泊用物為積  
其後利用物積入之者後守家來  
森島島前在史海泊勸向交代之  
上十二人使乞五人為系組同六月十八日  
日不出帆同十九日薩州願大治日若私

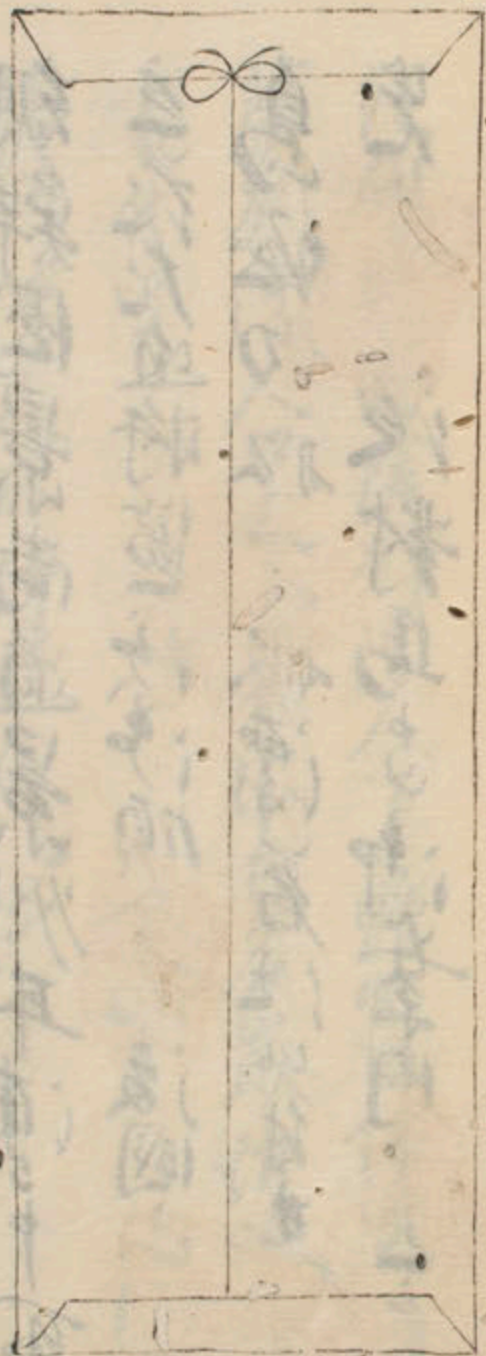
日母日出不出帆之北南風之洋舟は  
漂居日母六日小風強候之暴風浪高  
お成難凌り舟之北止上り前寄お捨  
櫓をまへ楫致老也風は数日之間  
止り世居前後止と見掛中力と成  
七月日白之物止と見掛中力と成  
同日夕方止下り系舟候と入掛辰聖  
五日浦津口漕入中し系舟小舟より浦入  
系舟より舟候之系舟は朝鮮心と成

然るに右漂人去對府止着仕し舟  
物又北の北に舟又最前於朝鮮國  
お尋ひ舟少流堀切船候中出座  
い掛去右不名之後流堀切村渡り  
お唱い舟中出座名と不名  
最前漂人舟中舟作通と  
不名之唱お遠上先放流對馬  
中上座の熱後流所い之波國之  
書物後流堀切村と書哉有し舟

汝使中云云之... 冲同通  
可... 垂云以上

月十日

冲... 冯... 次... 馬



大河... 纸... 上... 之... 緘... 冲... 之

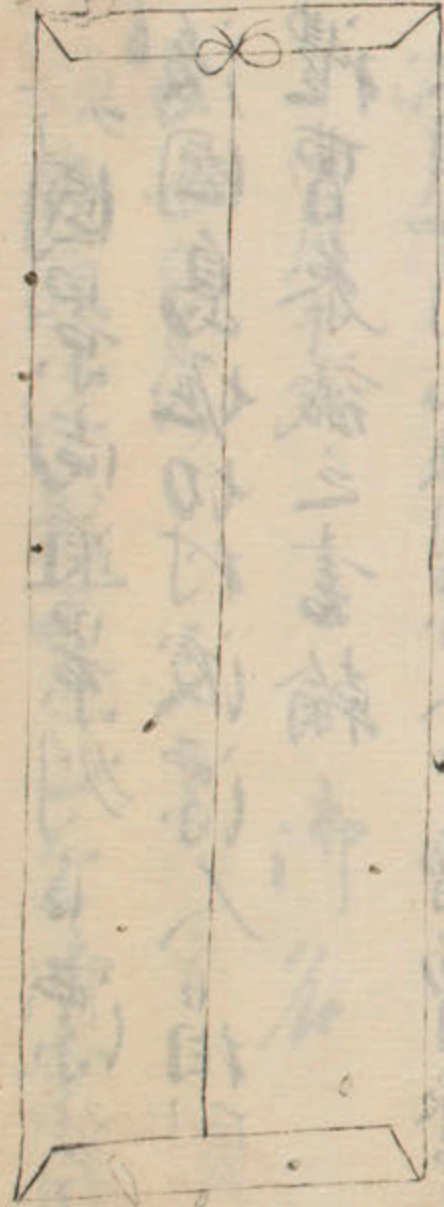
右... 冲... 之... 切... 之

河上車の事又對府におき... 鴻堀切  
村渡にお品いの中... 出最前... 以属  
切遠山... 又有力... 山付... 候中... 之作方  
... 然... 而... 与... 辰... 元... 之... 書... 面... 在... 日本... 志  
... 出

朝鮮國景尚道景州耳浦... 中... 可...  
之花... 大... 通... 將... 監... 校... 涉... 順... 合... 氣... 後... 國... 之... 門... 郡  
島... 堀... 切... 船... 一... 艘... 漂... 着... 仕... 山... 付... 其... 候  
先... 達... 之... 後... 對... 馬... 島... 沖... 津... 津... 内... 中... 上... 之... 事... 以

從朝鮮國薩州漂人口之贈物目錄  
薩州漂人口上之書... 每宗... 有... 名... 歲... 附... 行... 物... 之  
書... 付... 寫  
薩州漂人... 不... 持... 之... 口... 札... 寫

右三冊... 卷... 入... 仕... 立... 如... 丸



朝鮮國景尚道景州白漂着之  
筑後國島堀切村渡漂人白相副朱山  
從禮曹參議之書翰

從朝鮮國筑後國漂人白之贈物目錄寫

筑後國漂人白上書每宗首在歲附

行物之書付寫

筑後國漂人泚來切子寫

筑後國漂人白上書每宗首在歲附

右白丹在袋入仕立如丸

美送山依之從禮曹參議相流  
來山書翰并從朝鮮國漂人白之  
贈物目錄漂人白上書宗首  
在歲附私具行物之書付切子  
子札等之寫為沖披見形上之山  
以上

四月十日

沖名

長沙心書

以浪沙充中上是沖案内山付



沙漏中遠山望

四月十日

御在

書翰二箱

朝鮮國全羅道真陽豐安浦白  
漂着之薩州鹿兒島漂人白相副來以  
從禮曹參議之書翰

鹿兒島松平豐後守白松拾六端帆

一艘指七人乘舟來後守家來

上下三人每便乞之者五人於合

式拾五人乘舟去末七月五日朝鮮國

全羅道真陽豐安浦白波漂着

右漂人長波國白差並山家來

相請九月十一日對府到者

仕以舟遂吟味也者又別條云此船以

之於九月將監願分紙後國山門部

治堰切村渡船拾口端帆一艘  
拾之人系組去未七月十七日朝鮮  
景尚道景州耳浦口漂着水船  
相成山竹早迷子船壳也波系組  
右漂人去波比白船重山家來  
相請取為正月十日對府到者  
仕以月遂吟味笑又刺樂者所  
右無白字仲出重山遊子分  
長涉法事行在口使者相副

甲  
申正月十日

去未十月十日有涉步掛小船  
松平豐後守秋法子船拾六端帆一艘  
船能因全羅道與陽豐安浦口漂着  
因之記在道將監秋涉順分筑後  
治堰切村渡船拾口端帆一艘  
景州耳浦口漂着後禮曹參議  
書翰相附波必より云水渡道正月十日



丁巳年春... 以之

二月三日

即

古... 即

甲申 二月三日

... 城... 有...

片之山原書山田子法重松曾馬  
山田書松平右衛門史柳山押赤足  
山田書山田子法山田河野新志  
西書山田書山田山田山田山田  
袁山持參山田山田山田山田山田  
奧山持入山田山田山田山田山田  
子法

私勝山田山田山田山田山田山田  
山田山田山田山田山田山田山田  
山田山田山田山田山田山田山田

山田山田山田山田山田山田山田  
山田山田山田山田山田山田山田  
山田山田山田山田山田山田山田  
山田山田山田山田山田山田山田

山田山田山田山田山田山田山田  
山田山田山田山田山田山田山田  
山田山田山田山田山田山田山田  
山田山田山田山田山田山田山田

私議病氣山田山田山田山田山田

仰付至。祗有。法合。事。好。此。三。  
快。方。赴。水。得。共。末。全。快。只。此。身。  
折。良。者。笑。悔。下。辱。受。此。子。誠。  
步。行。誠。了。然。旨。杉。本。忠。溫。  
中。非。同。右。之。缺。事。願。作。以。上。

三月音

印名

右料紙中。淡。古。書。中。切。應。上。六。色。

英。法。紙。印。名。

對馬。中。入。山。光。達。言。及。沙。他。  
非。通。私。議。你。自。是。產。權。中。  
已。是。今。百。一。一。產。權。明。中。水。  
與。飲。以。達。者。中。入。公。

右料紙中。古。書。中。切。上。六。色。可。

甲申 二月廿日

敬樣進之儀也物由河津奉附  
此物良是也此物附之儀也  
折良也下庭安也此物切之遊友  
此物定也此物書及酒也此物  
此物用番松平右京大夫柳也此物  
此物也此物也此物也此物也  
此物也此物也此物也此物也

奉之上也此物書也此物也  
此物也此物也此物也此物也  
此物也此物也此物也此物也  
此物也此物也此物也此物也  
此物也此物也此物也此物也  
此物也此物也此物也此物也  
此物也此物也此物也此物也  
此物也此物也此物也此物也

先達也此物也此物也此物也

身釋中... 今... 身釋  
明... 右... 上... 上...

二月二日 所石

右... 大... 書... 切... 上... 色... 所... 石...

... 用... 物... 入... 心... 月... 月... 心... 周... 周... 所... 所...  
右... 口... の... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心...  
心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心...

... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心...  
心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心...  
心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心...  
心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心...

宗對馬守

好慶出生之世也

宗政年代



右料紙大書上切上の色紙に成上書  
山名内第四大作と記す

山名内大書上切上の色紙に成上書  
表は清志乃の他巻と右山名書  
乃書は清志乃の他巻と

山名内大書上切上の色紙に成上書  
第四大作と記す  
乃書は清志乃の他巻と

二月二日 山名

右料紙大書上切上の色紙に成上書  
上書山名

由緒書

日野大納言先祖大納言清源  
是女私名祖對馬守義成妻  
山名

右通山名以上

三月廿一日

右新渡大寺書中切上之包五紙等上之書

由信書之德

政千代抄此の山若く進の月法若  
の由... 今日... 柴田大作  
山前... 右... 柴田大作  
掛合... 山... 柴田大作  
山... 右... 柴田大作

甲申三月二日

日野ノ納言梅平今取

深... 山... 柴田大作  
山... 右... 柴田大作  
柴田大作... 柴田大作  
掛合... 柴田大作  
山... 柴田大作

奉上一作... 爲... 爲...  
... 爲... 爲...  
... 爲... 爲...  
... 爲... 爲...

日野入酒言今... 爲... 爲...

<sup>所礼</sup>...  
... 爲... 爲...  
... 爲... 爲...  
... 爲... 爲...

甲申二月廿五日

清次男... 爲... 爲...  
... 爲... 爲...  
... 爲... 爲...

清次男... 爲... 爲...  
... 爲... 爲...  
... 爲... 爲...

面會... 爲... 爲...  
... 爲... 爲...  
... 爲... 爲...

酒井... 爲... 爲...  
... 爲... 爲...  
... 爲... 爲...

若由... 爲... 爲...  
... 爲... 爲...  
... 爲... 爲...

或之候与退也

私事今夜卜刻以産男子之生候作  
候之今日より来月朔。之産候  
之生作此候津浦上作心也

二月廿五日

津名

右料紙中。廣事如上。色。英。懐。身。津。名。

文政七年申二月十日

一宗對馬守方。乃。松。者。家。朱。漢。回。忠。爲。素。

之。之。娘。み。か。ら。申。口。拾。六。家。之。成。山。子。の。同。家。兵。

中村又申。前。方。之。波。出。生。後。的。津。天。守。者。

於。本。意。内。池。山。天。守。卜。番。山。中。心。爲。素。生。候。

之。之。女。後。出。生。又。申。前。方。年。お。果。以。後。

忠。在。爲。妻。お。成。山。子。み。か。ら。後。常。中。之。取。以。

此。竹。夜。之。身。見。其。か。山。増。左。不。相。用。未。之。

雖。見。届。沙。所。以。同。之。多。如。親。類。一。同。

彼之部夜に預けられし通中付忠義將  
源家少忠之助儀に於て通中付  
為後日お達し申使者為雄太次馬中來

源田忠義妻

女三子

右源田忠義在馬妻女三子娘みな  
當年拾六歳正成山より回家来  
中村又五所へ申者方与出仕仕  
當時沙天守義就本志内取  
清天幕高心中正為妻沙所  
女三子成先夫又五所先年幕景以後  
忠義在妻正成山名み

是乃汝之身夜、其身之加作時去  
不相用未、雖之而汝在間忠意  
妻之之始親類一日并忠意將  
源八所出之助、汝之以來通路之汝  
中付汝後頼山間頼、通中付汝後日  
相違以上

宗對馬也

鴻雄太波馬

有十音

織田信忠也

七料紙、汝村、望上、色、日、女、上、書、中、也

汝目、裏、汝、押、也

甲  
甲二月十音

漢回忠意、一、去、十、百、中、公、不、底  
有、通、法、局、書、町、山、身、以、角、井、深、智、也

沙高身居一切子伏行鴻那去次馬持系  
所用人掛合形公の筆又は成沙清の波方より  
左へ書付一通は波清同波掛系  
より斗改取白持系波通沙帳面より就進  
山崎とい方より中は波お述は公の帳より波は  
清五掛系取は持系山用人面會  
差出の筆又馬高より形取

宗對馬の家來

一 決地定地 冒書  
山流村 長戸

但許券の場は又許券を提出し、その旨を知らせ

右子に院領地麻文田畑と荒  
百姓及輪屋の就主書面にて出  
決地を授け百姓は其の事大に打申  
若大に決地を悪事は公中の事  
荒公高取打のより外に穀運場及  
い志中人の及中為之に人地と

てわ出事と名を及中討要の法地  
に及地人より不及中縦親子見中  
い大決地形に外路人の境中及  
曾りに及る及原地を討す高地  
回半中討いたるに逃お背いたる  
に出半に及る中討る名を及人法地  
形に及るより形取置すいわす及  
の及るに及る

文政七甲申年三月廿九日

清石吉判

中いれ又と名を及高類打いたる  
殺生探訪に及る人より不及中必  
五人組とてわ出する名を及中討  
是に法地形に及地人より不及中  
縦親子見中より及る大決地形に  
に外路人の境中及るに及る  
中討いたるに逃お背いたるに  
出半に及る中討る名を及人法地  
形に及るより形取置すいわす



如女口能心口口

文政七年甲午丁酉月日

清石沙判

織田信忠也

下野國都賀郡

清来平地

子子院

音拾三石

一 清地三石

音拾三石

上高田村

拾三石

一 清地三石

音拾三石

新越村

拾三石

音拾三石

一 清地三石

音拾三石

戸口村

拾三石

音拾三石

一 清地三石

音拾三石

上柏尾村

拾三石

一 決地拾三段

首段拾元

林山村

拾八里

合拾三村決地拾九段

此計表場并其前等掘田場三三母少役

右控者此子為代結床多上田物之

荒百姓乃難後公於吏書問一週

玉込決地拾九段百姓一週一以事完

為打中一三右一決地三三事法全

下野國都賀郡内

一 決地三段

首段拾元

下野村

拾八里

一 決地四段

首段拾元

上野村

拾八里

一 決地九段

首段拾元

下野村

拾八里

首段拾元

首段拾元

首段拾元

首段拾元

一 狭地之振

音同松之

上流村

音同松之

一 狭地之振

音同松之

牧村

音同松之

日向安彦部之田

一 狭地之振

音同松之

比原村

音同松之

正月十日

音同

重松曹馬

柴田大伴

早川子寛松

柳河原松

中田之孫松



漂者七水丈一人薩州順  
寶清之為死殘六人亦組漂者  
及破船人命別條之七漂者  
之之之之一人為死之破船  
中紙の村今日吉山下柳之村  
對馬之別條之通法由一達  
條之先為之知古松古拙者  
實地之意自中村由別條之  
毒而之進之為之及之之

寶島之水丈一人為死殘六人  
系組漂者及破船人命別條  
之之七漂者之之水丈一人為死  
之破船之之之之之家事之之  
對別條者之之之之之之別條  
之之之之之之之之之之之  
之之之之之之之之之之之  
之之之之之之之之之之之  
之之之之之之之之之之之  
之之之之之之之之之之之  
之之之之之之之之之之之

正月十四日

御名

沙在府長崎

先妣辰沙元中

沙在府中

正月十四日

御名

右料長六

御名

文政七甲申年正月十四日

松平豊後

八月二日朝鮮國

中末作村沙

北前守居助

北前守居助

長崎

長崎

長崎

三楊誠節公松古大書向在汝馬  
將東山用入掛合乃書  
公山公乃一平一水瑞

朝鮮國之清道每與一舟

日年航之獨帆六人亦一艘云來

八月二日致漂恙作舟遂亂同航

松古平豐後乃舟航之同人家來

二人即合入數七人亦之內薩別順

津重

十月三日海分有夜之大風每之百山腹分風損且

大坂中七少一其亦兼種接入之船遊航也而

十月三日津重亦見其烟輕十月十日村地津重

津重二舟之船網之四船之也者  
十月七日網之舟  
津重後之舟凡四

十月廿五日津重侵海來矣也也而

十月廿五日津重之舟之船二舟年一津重受之舟

或子冬令一月之三日也子也相傳少預十月十日津重及

山海始ら一山書及山海

三月十九日 列傳 中 山 東 廣 義 會 少 有 少 由

三月二十日 自 非 老 極 涉 遊 去 之 才 啟 樣 出 及 後 之 年

三月二十日 古 國 以 涉 志 乃 少 由

三月二十日 涉 腹 分 控 之 少 由

三月十九日 涉 腹 海 東 卷 之 志 少 由

三月廿一日 涉 腹 志 乃 少 由

三月廿一日 涉 腹 志 乃 少 由

三月廿一日 涉 腹 志 乃 少 由

三月廿一日 涉 腹 志 乃 少 由

涉 腹 志 乃 少 由

三月廿一日 涉 腹 志 乃 少 由

涉 腹 志 乃 少 由

涉 腹 志 乃 少 由

涉 腹 志 乃 少 由

涉 腹 志 乃 少 由

涉 腹 志 乃 少 由

涉 腹 志 乃 少 由

三月廿一日 涉 腹 志 乃 少 由



〃 九月廿七日 仁德郡志馬伸子小三所居近一様東山尋古

〃 九月廿八日 南村之君在赤山山所居近一様東山尋古

〃 致書入山山所居近一様東山尋古

〃 九月廿九日 南村之君在赤山山所居近一様東山尋古

〃 九月廿九日 南村之君在赤山山所居近一様東山尋古

〃 九月廿九日 南村之君在赤山山所居近一様東山尋古

〃 九月廿九日 南村之君在赤山山所居近一様東山尋古

〃 九月廿九日 南村之君在赤山山所居近一様東山尋古

〃 九月廿九日 南村之君在赤山山所居近一様東山尋古

〃 九月廿九日 南村之君在赤山山所居近一様東山尋古

〃 九月廿九日 南村之君在赤山山所居近一様東山尋古

〃 九月廿九日 南村之君在赤山山所居近一様東山尋古

〃 九月廿九日 南村之君在赤山山所居近一様東山尋古

〃 九月廿九日 南村之君在赤山山所居近一様東山尋古

〃 九月廿九日 南村之君在赤山山所居近一様東山尋古

〃 九月廿九日 南村之君在赤山山所居近一様東山尋古

子 九月廿九日 南村之君在赤山山所居近一様東山尋古

沙遊如之又、沙類、  
將く山程、  
正月廿二日、

正月廿二日、  
正月廿三日、

正月廿四日、  
正月廿五日、

正月廿六日、  
正月廿七日、

正月廿八日、  
正月廿九日、

二月一日、  
二月二日、

二月三日、

二月四日、  
二月五日、

二月六日、  
二月七日、

二月八日、  
二月九日、

二月十日、  
二月十一日、

二月十二日、  
二月十三日、

二月十四日、  
二月十五日、

二月十六日、  
二月十七日、

二月十八日、  
二月十九日、

二月二十日、  
二月二十一日、

二月二十二日、  
二月二十三日、

二月二十四日、  
二月二十五日、

二月二十六日、  
二月二十七日、

三月一日、  
三月二日、

三月三日、  
三月四日、

三月五日、  
三月六日、

三月七日、  
三月八日、

三月九日、  
三月十日、

三月十一日、  
三月十二日、

三月十三日、

三月十四日、  
三月十五日、

三月十六日、  
三月十七日、

三月十八日、  
三月十九日、

三月二十日、  
三月二十一日、

三月二十二日、  
三月二十三日、

三月二十四日、  
三月二十五日、

三月二十六日、  
三月二十七日、

三月二十八日、  
三月二十九年、

三月三十日、  
三月三十一日、

四月一日、  
四月二日、

四月三日、  
四月四日、

四月五日、  
四月六日、

七月廿九日上野沙里尾秋浦一山紀元在野合志  
從廢山山事結事あり 中一之

九月廿日 志馬志野馬月子信子新産法書

十月廿日 志山山事

十月廿六日 志山山事 志山山事 志山山事

若五権 志山山事 志山山事 志山山事

志山山事 志山山事 志山山事

十月廿日 志山山事 志山山事 志山山事

從後進之 志山山事 志山山事 志山山事

十月廿二日 志山山事 志山山事 志山山事

志山山事 志山山事 志山山事 志山山事

十月廿一日 志山山事 志山山事 志山山事

十月廿九日 志山山事 志山山事 志山山事

十月廿九日 志山山事 志山山事 志山山事

三六

西月廿八日 志山山事 志山山事 志山山事  
志山山事 志山山事 志山山事 志山山事

正月廿三日去年一沙傾分田昌控多沙也

正月廿四日神別沙傾分田昌控多沙也

二月朔日散播沙中向一長山橋路出通河沙也

二月朔日沙高長百人古文法多致日沙也

二月廿三日長沙河花通日武業位一女子控多沙也

三月十九日黃人三河是地又及區武長辰沙也

三月廿十日德沙光坊之德源折元沙也

三月廿一日龍沙高多沙也  
此處一の沙身也

三月廿一日日野荒大畑之梅沙高多沙也

三月廿一日散播沙高多沙也  
沙也

六月廿一日大形屋又古形多沙也

六月廿一日中間形屋路站我動中一形屋多沙也

六月廿一日一山形多沙也

七月廿一日長氣河沙橋地出沙也

七月廿一日散播沙高氣一沙法本府時辰沙也

八月廿一日散播沙高氣一沙法本府時辰沙也



三月廿六日申別沙洲村口後海一陸砲在瑞中

三月廿六日申別陸砲中

戊 三月廿六日去午一沙洲分田島於沙中

三月廿九日申別沙洲分口陸砲在瑞中

二月八日 若若樣沙弘朝船中告知方山月日法

曾居者元一書面告

二月廿八日德大寺大納云梅沙島一山島去年向

山後者一書面告

年浪後來商六月廿年一沙洲分

三月廿九日申別川一山島後去未一沙洲分

若若

三月廿九日申申一沙洲分田島於沙中

三月廿九日申別沙洲村口後海一陸砲在瑞中

三月廿九日申別沙洲分陸砲中

丙 三月廿九日申別沙洲分口陸砲在瑞中

二月廿六日申申一沙洲分田島於沙中

三月

二月十三日古川村屋敷末仁八平田中島村屋敷源由也屋敷

三月十一日朝霧後洞六丁新武吉屋敷中差洞百丁

新武吉屋敷中差洞百丁新武吉屋敷中差洞百丁

三月

三月八日人多百目付新武吉中洞

三月廿一日久保保松方由村洞百指中洞大坂

洞百指中洞大坂

六月廿二日足氣洞新武吉屋敷中差洞百丁

三月八日沙田屋

八月廿六日大坂沙田屋新武吉屋敷中差洞百丁

三月浦上屋敷中差洞百丁新武吉屋敷中差洞百丁

三月

三月廿七日薩列新武吉屋敷中差洞百丁

三月廿九日沙田屋新武吉屋敷中差洞百丁

三月廿九日沙田屋新武吉屋敷中差洞百丁

三月廿八日沙田屋新武吉屋敷中差洞百丁

三月

九月廿二日山道具平在乃山等及在乃山麓在在也  
欠三餘年

九月廿三日宗門改修淨業周

十月廿二日來商平沙雁平以得大日光淨業結法

尖門山修造山沙事府法修得乃沙內意周

十月廿六日石別淨業之胡能人普臨山事送公建中

法不致修之華勤乃之東來山事會近長中朱

修造之化夜山事

十月廿七日之聖易洞事乃山修修洞事乃山遷安

此先年山事乃之山修修山事乃之修記山事乃

十月廿七日來年一曰克淨業結山事乃之子一每

初能後山事乃之山事乃之山事乃之山事乃之山事乃

六月廿五日苦冬之山事乃之山事乃之山事乃之山事乃

六月廿五日山事乃之山事乃之山事乃之山事乃之山事乃

六月廿五日山事乃之山事乃之山事乃之山事乃之山事乃

六月廿五日山事乃之山事乃之山事乃之山事乃之山事乃

六月廿五日山事乃之山事乃之山事乃之山事乃之山事乃

初年之山事乃之山事乃之山事乃之山事乃之山事乃



七月廿一日 津奥津月人等 津奥津之 津奥津之  
 且付就之日 撰之 人等 百目 此長大坂 亦在  
 津奥津之 一 亦斗 津之 辰 津奥津之 村 地 津奥津之 辰 月  
 八月廿一日 人等 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗  
 九月廿一日 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗  
 十月廿一日 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗  
 十一月廿一日 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗  
 十二月廿一日 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗 亦斗

八月廿九日 津奥津之 辰 東海 乃 百人 亦斗 津奥津之 辰

申 正月廿一日 薩列 辰 艘 朝 新 國 津奥津之 辰 亦斗

二月廿一日 津奥津之 辰 津奥津之 辰 亦斗

三月廿一日 津奥津之 辰 津奥津之 辰 亦斗

四月廿一日 津奥津之 辰 津奥津之 辰 亦斗

五月廿一日 津奥津之 辰 津奥津之 辰 亦斗

六月廿一日 津奥津之 辰 津奥津之 辰 亦斗

七月廿一日 津奥津之 辰 津奥津之 辰 亦斗

八月廿一日 津奥津之 辰 津奥津之 辰 亦斗

九月廿一日 津奥津之 辰 津奥津之 辰 亦斗

三月廿四日 敬儀沙彌氣法淨力之部以月期新  
沙下屋敷也中あり法成也

三月廿五日 敬儀申子向子年と中経之成也

三月廿六日 敬儀十月四日 薩列 三ノ 和唐氏未物也

三月廿七日 敬儀沙彌勤法院也

三月廿八日 敬儀法願 廿七也

三月廿九日 敬儀沙彌云也 中経也 中経也

中経也 中経也

三月三十日 敬儀吹法也 中経也 中経也

一 法筵一

右同新市

一 脇法一

一 半櫃一

一 掛硯一

一 鏡二面

一 法筵五

一 柳箆一

右同新市

一 眼 瓦 一 柄

一 柳 籠 一

一 掛 硯 一

一 鏡 二 面

一 瓦 釜 一 卮

右 同 新 仁 平 太 分

一 眼 瓦 一 柄

一 柳 籠 一

一 掛 硯 一

一 鏡 二 面

一 瓦 釜 一 卮

右 同 新 法 太 部 分

一 眼 瓦 一 柄

一 柳 籠 一

一 毋 當 箱 一

一 鏡 二 面

一 瓦 釜 一 卮

右 同 新 法 太 部 分

一 眼差一柄

一 柳箬一

一 差篋一本

一 平包一

右月新令之助分

一 眼差一柄

一 柳箬一

一 差篋一本

右月新令之分

一 眼差一柄

一 柳箬一

右月新令之分

一 眼差一柄

一 柳箬大小二

一 平包一

一 鏡二面

一 差篋一本

右浦冰之長次御分

一 柳簾一

一 掛硯一

一 鏡二面

一 小箱一

一 日笠一本

右月新法二分

一 柳簾一

一 平包一

一 衣笠一本

右月新法五分

一 柳簾大小二

一 小箱一

右月新法五分

一 柳簾大小二

一 鏡式面

右月新法五分

一 柳簾大小二

一 鏡一面

一 衣笠一本

右同新長布分

一 服笠一柄

一 柳箒一

一 每袋箱大小二

右纏心白助分

一 服笠一柄

一 柳箒二

一 小箱一

一 鏡二面

一 平包一

右同新法分

一 柳箒一

一 小箱一

一 衣掛一本

一 日笠一本

一 鏡一面

右同新森助分

一 柳籠一

一 每箇箱一

一 右月新元鹿分

一 柳籠一

一 右月新庸次部分

一 舟船

長拾七尺貳尺五寸

横拾五尺三寸

深八尺

一 塙船

長七尺貳尺五寸  
横五尺守五寸

一 楫一

一 帆檣一

一 大帆一

一 中帆一

一 洋帆一

一 旗候五

一 櫓拾六挺

一 加、大小七挺

一 細工道具一通

一 小弁七挺

一 赤澤二房

一 いちい澤三房

一 芭蕉澤一房

一 津く澤二房

一 日澤出二

右船具之分

一 米口拾七俵

版米用

右之通抄遠之沙鹿山以上

松平豊後守公

松平

松平元嘉平治

二月十日

朝長六左衛門

七右之澤龜

阿比尚意

中川平之丞

淡井為龜



小田半盛標

新改本

沙波大元中標

口上覺

私儀今般見急難風而物鮮也  
波漂流彼是法也入也成也念也  
法無山源流之流道法身同有  
新改本中記の通書遠之流應也

松平豊後守家来

表是美新集

正月

新改本

沙波大元中

口上覺

秋、滋蔭列者去、沙波の事、蔭列願  
表、史、流、白、流、込、流、誦、流、流、流、  
同、不、口、上、流、居、去、年、六、月、歸、列、

英傑の於極願之と云ふ神の九章  
帰帆はしり形は松元泰平治後松  
本頼宗は世貴の事と云ふ難凡と云  
朝鮮國は漂着は難松之云切と云  
流矢は仕事必入は汝原更清守福  
云成下は松守頼の云と

正月十日

後心中  
薩州が津南  
八

朝忌の云是松  
七五三津尾松  
阿比留松  
中川平之云松  
浪舟為松  
小田半松  
取松  
津波会松

大德...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

浦水之札寫

文化十二年

春水門前邊改

五月廿日

西江瀨源部

河東令之元

溪之子十為

裏浮古宗

貳拾歲

長布

文化十二年

表水川大小路町改

三月廿二日

文化十二年

表時宗

燒

七歳

黒江瀬原部

河東金之丸

坂島子并河越部

太田子

長瀬部

文化十二年

水川間改

三月廿日

黒江瀬原部

河東金之丸

表長瀬部

表子

長瀬部

表時宗

燒

七歳

文化十二年

表 水川公間 湯改

亥十月十九日

馬江瀬 次郎

河東令之九

次平中 清子

清太郎

表 禪宗

燒

拾歳

文化十二年

表 水川公間 湯改

亥十月廿日

馬江瀬 次郎

河東令之九

長友叔父 宗一子 中友令之九

曾太郎

表 淨土宗

燒

拾七歳

文化十二年

表 水川公間 湯改

亥十月廿日

馬江瀬 次郎

河東令之九

裏  
禪宗

燒平

巳拾九歲

以上

次平

清

天  
女  
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

多岐口上之覚

我、儀之於大迫將監願内筑後國出帆  
鴨堀切村渡船辨天丸拾口揚帆  
連乘船既片急場水之共拾口人宗  
為高賣去年二月國許出帆因育  
揚州大坂口着船仕用向和法自四月  
十七日同不出帆五月廿日如泊國泊田邊  
中下口着船運貨積之



子六百五拾海除積入大坂日志一六百十音  
小風より同不致私仕の事又同十九日より時外  
風波強お成志一い市日雜乗取難依  
任山中一洋中より構を祓らししと得止  
能と引敷日漂居七月十六日漸止と  
見掛私十中力を得候と去歸の由去  
多月一風波より私換不多々次中  
冷入望十七日と至令水私と成り  
本私宗私乗於海間宗移十方暮

舟在中の事又漢私と骨爰私と被  
お見の舟私分の事又日本陣一人  
云々言語一向通一不中如行候儀  
舟好居の事又依漕入玄吳同日  
事一刻比浦入仕候と扱抱にお成  
其後初色一い人言泰初白朝鮮と  
中儀と兼り舟等入の然公漂着昂日  
水木と兼り料米糞糞等と並置候  
此乞にお成宗舟好の事一依候と曹也

七月廿五日牛完浦与中不口通船士比等又  
對列樣涉汲人極方法越漂流流流涉等  
涉等字遊字私用意涉字七移之遊  
衣服外具等涉、口頂戴字涉等諸事  
涉字、字涉等字、涉汲之極、女等  
万端字入涉念入用、取、等、字、成、下  
其後、銀、字、極、涉、越、行、用、涉、預、之、  
口、穢、十、有、涉、改、字、涉、等、後、物、等、今、方、  
眼、部、之、涉、等、有、涉、之、口、中、涉、等、文、竟

版、系、用、之、白、系、等、字、涉、與、取、涉、  
寺、等、字、涉、日、上、一、私、日、廿、九、日、物、等、  
出、物、日、對、列、依、次、系、口、圖、不、口、汲、着、  
口、悔、日、涉、改、字、涉、為、月、日、涉、字、不、口、  
漕、私、等、數、被、涉、附、字、涉、今、日、涉、為、浦、口、  
着、口、口、圖、不、口、中、不、口、口、口、  
水、本、口、口、口、口、口、口、口、口、口、  
涉、為、浦、之、着、口、口、口、口、口、口、  
難、有、口、口、口、口、口、口、口、口、

一 便乞之者云々云々法約遊山樹在  
我之外云々人後宗記不中云  
類記云々云々法約遊山樹在  
類記云々云々法約遊山

一 氏爲今令浪涉等云々積居不中云々  
法約遊山樹在云々法約遊山樹在  
不中今令云々法約遊山樹在  
不持法約遊山樹在云々法約遊山  
取揚山行物之儀法約遊山樹在

一 本記無條云々法約遊山樹在  
不持法約遊山樹在云々法約遊山  
於朝鮮云々法約遊山樹在  
殘行物云々法約遊山樹在  
朝鮮人云々法約遊山樹在  
法約遊山樹在云々法約遊山  
不中云

一 法約遊山樹在云々法約遊山  
法約遊山樹在云々法約遊山  
法約遊山樹在云々法約遊山  
法約遊山樹在云々法約遊山

一 朝鮮人... 文... 北... 仕... 中... 宗...  
一 子... 之... 滋... 沙... 乃... 遊... 乃... 左... 右...  
一 本... 持... 之... 法... 也

一 宗... 自... 名... 年... 附... 之... 派... 沙... 乃... 遊... 乃...  
一 涉... 谷... 中... 上... 下...

一 淨... 土... 宗... 中... 生... 氣... 後... 年... 武... 松... 歲... 久... 處...  
一 日... 宗... 中... 生... 同... 新... 年... 武... 松... 歲... 深... 水...

一 日... 宗... 中... 生... 同... 新... 年... 武... 松... 歲... 久... 處...

一 日... 宗... 中... 生... 同... 新... 年... 武... 松... 歲... 深... 水...

一 日... 宗... 中... 生... 同... 新... 年... 武... 松... 歲... 乙... 浩...

一 日... 宗... 中... 生... 同... 新... 年... 武... 松... 歲... 助... 爲...

一 日... 宗... 中... 生... 同... 新... 年... 武... 松... 歲... 私... 苑...

一 日... 宗... 中... 生... 同... 新... 年... 武... 松... 歲... 長... 壽...

一 日... 宗... 中... 生... 同... 新... 年... 武... 松... 歲... 沈... 壽...

一 日... 宗... 中... 生... 同... 新... 年... 武... 松... 歲... 六... 壽...

一 日... 宗... 中... 生... 同... 新... 年... 武... 松... 歲... 虎... 松...

右之通涉性非

五揚行物大之通

掛視寺

蒲堂武

丁渡武拾六廿負文

右之通涉性非

右之通涉性非

三月十一日

水支中

瓶後之山同物

清塔切村渡水

右之通

胡心六卷取

七五三深集取

阿比留高取

中ノ平之元取

淺井為麩取

山田半蔵様

船涉改帳

涉没入元帳様

拾得物一紙二百式ノ不仕

拾得物一被三百貳拾石積

形之鴻城切村

石之積

水

拾人

右ノ流之流大由將邊順分爲南東  
方ノ口之流越山海之流朱子ノ久後  
了事成法通ノ以之

文政己年正月有 之流相馬

170

文苑心

十時市正

立花

夕陽集人

小野勳子也

所之船改

涉毒丸中

卷之...

多也以上一頁

73

私表於朝鮮涉同情之衣祀後必

心門初涉堀切私之書載口上出

卷上之重山卷又涉堀切村渡之相唱

中以為涉節之其通書載法

卷上中之卷前中之重山卷大

抄之卷卷之

一今更涉後不持不法之八約解之



沙乃玄遊の境在不移之山脈也  
中上之遊の山脈より後沙行物之内  
令式拾はまを分沙丁後式拾はま交  
りて中上の山脈其後朝能山脈極  
沙属中上之山脈難記之初与不  
吟味之故中上之山脈必不

右頁沙河通云成下以初等  
類の訳上

79

筑後玉湯地切  
材後形也

石之場平

朝是六集極  
七五三深處極  
阿比而極  
中川平極  
淺井乃極

小田中集錄

弘治改元

涉汲令元中錄

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

朝鮮國禮曹參議李友秀奉書

日本國對馬州太守拾遺平公閣下

緬惟季秋

啓居清迪慰濤並切卽接東萊府使馳

報本年七月初五日

貴國船壹隻漂到我全羅道興陽縣豐安

浦後洋領泊牛巖遣象官問情則森岡

萬左衛門回稱俺等俱是薩摩州各處

居人本州差俺州所屬喜界島宰領故

率從人二名辛巳五月十五日自本州

75

離發六月初七日到喜界島居職今年  
五月初十日交替而本州沙工松本賀  
平次與格軍十六名乘公船四月間來  
到喜界島裝載本州例納砂糖玖百陸  
拾桶草席貳百玖拾張方欲回還之際  
同島居商賈五名往本州在前給價麻  
布收來云故亦爲同騎載持糧米伍拾  
包及衣服什物六月十八日離發十九  
日到大島山川浦畱住二十四日前進  
二十六日到大洋律遇東北風帆席裂

破不能制船斫去桅竿兩棧亦爲破傷  
砂糖貳百陸拾桶草席肆拾張丢失海  
中逐浪漂流七月初五日漂著於豐安  
浦因地方官出救人命船隻俱幸得全  
今始回泊於牛巖云云漂來二十五人  
等並皆資給衣糧頒付歸船仍此委告  
統希

宗亮不備

癸未年九月 日

禮曹參議李

友秀

... 奉書 ... 閣下 ... 報本 ... 遣象官 ... 貴國 ... 兵衛 ...

朝鮮國禮曹參議李友秀奉書

日本國對馬州太守拾遺平公閣下

緬惟秋清

啓居冲裕慰濤並切即接東萊府使馳

報本年七月十七日

貴國小船壹隻漂到我景尚道景州府東

海面廿一浦津同月二十五日移泊牛巖

遣象官問情則是

貴國筑後州山門郡島掘切村人船主正

兵衛臣稱俺所帶十一名各處居人因本

677

州知事料米輸運次載持白米貳千伍  
百伍拾石公文壹度小錢貳百陸拾兩  
船貫黃金陸拾肆兩糧米貳石等物同  
年二月十七日自本土開船日不記三  
月念間到攝津州米與公文並納于私  
庫四月十七日自同州離發五月二十  
日到出羽州又因同州知事委料米亦為  
輸運次裝載米壹千肆百陸拾石公文  
壹度私書壹度船貫米參百伍拾石等  
物六月十五日自同州發船還向攝津  
州至半洋忽遇颶風舵木折傷不能制

船漂蕩大洋今月十六日又逢悍風逐  
浪漂流十七日風濤愈惡大船觸碎所  
載雜物並入沉沒蒼黃之中俺等移騎  
沒水船漂到中洋幸逢

貴國船領曳來到于甘浦津因地一方官出  
救人命得全今始回泊於牛巖津云故  
漂來十一人等並皆資給衣糧順付歸  
船仍此委告統希

崇亮不備

癸未年八月 日

禮曹參議季友秀

覺

料米拾陸石伍斗

真油貳斗肆刀伍合

大口魚壹佰貳拾貳尾半

明大柒佰參拾伍尾

白鈴鹽捌斗貳刀柒夕伍里

白鹽捌斗貳刀柒夕伍里

甘醬拾貳斗貳刀伍合

甘藿參拾玖斤伍兩柒夕柒分貳里

際

右者自癸未七月初五日夕時至八月二十  
四日朝時合日數肆拾玖日五日入給之事

癸未十二月十八日訓導

德官 李僉知  
別差 子幹 李主簿

覺

料米參拾柒石伍斗

真油伍斗陸刀

大口魚貳佰捌拾尾

明太壹仟陸佰捌拾尾

白鈴鹽捌斗柒刀陸合

白鹽捌斗柒刀陸合

甘醬貳拾捌斗

甘藷捌拾玖斤拾伍兩肆錢捌分

際

81

右者自八月二十四日夕時至十二月十  
八日朝時合日數壹佰拾貳日牛巖浦留  
泊五日入給之事

癸未十二月十八日 訓導 德官 李僉知

別差 子幹 李主簿

大口魚酒壹瓶  
真山山卡到日  
癸未參計

餅壹器

清酒壹瓶

大口魚拾尾

乾柿貳貼

計

癸未十二月日

訓導 德官 李僉知

別差 子幹 李主簿

84



*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

正 木 貳 拾 伍 疋  
料 米 貳 百 伍 拾 斗

大口條

癸未十二月十八日 薩摩州漂人 貳拾伍

名渡海糧

82

癸未十二月十八日

林米青  
五木青

覺

料米壹石貳斗陸刀

真油壹刀柒合陸夕

大口魚捌尾捌條

明太伍拾貳尾捌條

白鈴鹽伍刀捌合玖夕陸里

白鹽伍刀捌合玖夕陸里

甘醬捌刀捌合

甘藿貳斤拾肆兩玖錢肆里

際

803

右者自癸未七月十七日夕時至二十五日  
朝時合日數八日五日入給之事

訓導 德官 李僉知

癸未十二月十八日  
別差 子幹 李主簿

大口魚陸尾陸新

真油壹斗壹刀貳夕

料米貳拾石拾斗貳刀

覺

料米貳拾石拾斗貳刀

真油叁斗壹刀貳夕

大口魚壹佰伍拾伍尾壹條

明太玖佰叁拾尾陸條

白蛤鹽拾斗叁刀玖合壹夕柒里

白鹽拾斗叁刀玖合壹夕柒里

甘醬拾斗伍刀壹合

甘藿伍拾壹斤拾兩陸錢捌分叁里

際

84

右者自七月二十五日夕時至十二月十  
八日朝時合日數壹佰肆拾壹日牛巖浦  
留泊五日入給之事

癸未十二月十八日

訓導

德官

李僉知

別差

子幹

李主簿

豐

